

医療崩壊の危機から 人材育成を通じた地域づくり

富山大学附属病院

総合診療部

山城清二

2016.4.9

地域包括ケアシステムモデル: Community-Campus Partnership for Health Care 「南砺市モデル: 地域・大学パートナーシップモデル」

2016.3月 現在

(能動的な)意識・思考改革

8年前の医療崩壊からスタート:

①医師不足、診療科の偏在、②病院の診療所化、③高齢化率、④医療人と住民の意識の乖離
→南砺市は、十分な医師確保が期待できないこの10年間、今後の医療崩壊を阻止するために
医療人と住民が連携し、ともに地域医療を守る努力が必要である。しかし、約2年間の在宅医療
推進セミナーの講演活動のみでは行動は起こらなかった。

(受動的な)セミナー×

①地域医療再生マイスター養成講座
(第1-7期): **310名**のマイスターが誕生



②南砺の地域医療を守り育てる会
第1回-第20回: **年3回**のペースで開催



実践の姿: 7年間の状況

「みんながイキイキ」

7年間: **人材育成の継続**

5か年計画で200名以上のマイスターを養成した。

介護保険全国サミットを成功させた。

7年間のまとめ:

- ① **地域医療再生マイスター養成講座**(第1-7期): **310名**のマイスターが誕生
- ② **南砺の地域医療を守り育てる会**: 第1回-第21回: **年3回**のペースで開催
- ③ **各グループの取り組み**: 毎回発表し、**継続的な取り組み**となっている
- ④ **行政-住民-医療者の連携**が **目に見える形**になりつつある。

継続のステップ:

- ステップ1: **自己の意識・思考改革**: “自分ごと” 4画面思考法
- ステップ2: **グループ活動**: 講座でのグループ内意見交換、各グループ活動
- ステップ3: **発表する場**: 守り育てる会、グループ間交流
- ステップ4: **行政-住民-医療者の連携**: 行政の力、南砺市全体への広がり
- ステップ5: **取り組みの評価**: 成果がでているか、評価基準

キーワード:
人が育つことは楽しい
『教育空間』創成
南砺市

2012.3.24後期研修医報告会 in南砺市民病院



後期研修医が病院職員の前で、1年間の成果を発表した。



③各グループの取り組み (能動的な)行動改革

- 1) **地域で医師養成:**
家庭医養成プログラム
(富山大学総合診療部-南砺市民病院連携)
- 2) **地域で訪問看護・リハ養成:**
ナースプラクティショナー的ナース養成講座
- 3) **なんと住民マイスターの会(住民グループ)**
思い出ガイド養成講座
- 4) **五箇山グループの取り組み(住民グループ)**
栞餅作り講座
- 5) **認知症ケアの取り組み(地域包括支援センター)**
- 6) **包括医療・ケアWGの取り組み(行政)**
- 7) その他

地域包括ケアシステムの構築へ

④行政-住民-医療者の連携
地域包括医療・ケア局の設置

(能動的な)改革の輪



田中南砺市長



住民の取り組み
住民マイスターの会を立ち上げる
2012.1.27 北日本新聞



地域住民参加型の医療システムの構築①
南砺市の状況: 医療崩壊

福野病院(50床)を
平成20年に診療所化

井口診療所
平成19年3月休止

平成16年11月、4町4村が
合併し南砺市が誕生

南砺市民病院 常勤医24名
180床(急性期144・回復期36床)

南砺市立3病院・4診療所あり、
全て医師・看護師不足で赤字。



平成20年頃より医療崩壊が始まる

公立南砺中央病院 常勤医5名
190床(急性期145・療養45床)

平診療所

利賀診療所

上平診療所

全ての取り組みは地域医療崩壊から始まり、
報道・書籍等で他県の取り組みを調べ、
対策は人材育成と住民参加型システムしか
ないと結論。



地域住民参加型の医療システムの構築③

平成21年にマスター養成講座が始まった！

“南砺市地域医療再生マスター養成講座”（第1期）

企画責任者1:山城清二(富山大学附属病院総合診療部 教授)

企画責任者2:小林俊哉(富山大学地域連携推進機構 特命教授)

目的:

「地域医療再生マスター養成」を提案し、医療人マスターと住民マスターと呼ばれる人材(コミュニティ・ヘルス・プランナー)を育成する。そして、マスターは各々の立場で地域医療再生のために活躍し、お互いが連携した地域住民参加型の医療システムの構築を目指す。

今回は講座を5回開講し、初回は総論と各論、2～4回は各論、最終回は報告会とした。講座の内容は北陸先端科学技術大学院大学で開催されている「地域再生システム論講座」を参考にした。政策科学というサイエンスを使って地域の課題に取り組むという手法を使うことにした。これは、講義と討論で成り立っているので、参加者の積極的な態度が重要である。

実施場所:南砺市役所福野庁舎 2階 講堂

実施日程:

第1回 平成21年10月 2日(金)

第2回 平成21年10月16日(金)

第3回 平成21年10月30日(金)

第4回 平成21年11月13日(金)

第5回 平成21年12月 4日(金)

実施時間:午後6時30分～9時(2時間30分)

実施方法:1時間講義、休憩15分、1時間討論、総括15分



実施内容:

第1回:総論(地域医療の課題、地域再生システム論)

担当:山城清二、小林俊哉

各論1(地域再生の取り組み例1)

テーマ:のびのび能美!ヘルスコミュニティの創造を目指して

講師:仲井培雄先生(芳珠記念病院 理事長)

第2回:各論2(4画面思考法)

テーマ:自分ごとで働くー成功の宣言文ー

講師:近藤修司先生(北陸先端科学技術大学院大学客員教授)

第3回:各論3(地域再生の取り組み例2)

テーマ:地域の高齢者と小学生を結びつけるプロジェクト

講師:小林俊哉

発表者:大学院生

第4回:

テーマ:4画面思考法の補習

講師:小林俊哉

第5回:報告会、まとめ、修了証授与

定員:約50名

医療局5名、医師5名、看護師/保健師10名、福祉職10名、診療技術職5名、住民(婦人会10名、女性議員5名)

評価:

地域住民参加型のヒューマン・ネットワークができること。

1期生44名のマイスターが育った

地域医療再生マイスター養成講座 参加者名簿

部 署	氏名	グループ	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	修了証	4画面
南砺市連合 婦人会	上田 明美	1	○	○		○		○	改
	柳丸 節子	2	○	○	○			○	
	山崎 智子	3	○	○	○	○	○	○	改
	野字加代子	4	○	○			○	○	改
	國所 恵	5	○	○	○	○		○	初
	荒岡恵津子	6	○	○	○	○	○	○	改
	高橋佳寿江	7	○	○	○	○	○	○	初
	竹田 菊枝	1	○	○		○	○	○	改
	武部 範代	2	○	○	○	○	○	○	改
	大塚 千代	3	○	○	○	○	○	○	改
南砺市 女性議会	長井久美子	4	○	○	○	○	○	○	改
	長谷みつる	5	○						
	仲村 朋子	6	○	○	○	○	○	○	改
	野原 恵子	7	○	○					
	山本 紀子	1	○	○		○	○	○	改
	前寺恵美子	2							
	丸井美久子	3							
医師	富山大学附属病院	山城 清二	4	○	○	○	○	○	改
	富山大学附属病院	小林 直子	5	○	○	○	○	○	改
	南砺市民病院	三浦 太郎	6	○		○	○	○	改
師長代理(看護師) 社会福祉士 主任(看護師) 主任(看護師) 社会福祉士 所長(看護師)	南砺市民病院	谷村 州子	7	○	○	○	○	○	初
	南砺市民病院	大浦 綾	1	○	○	○	○	○	改
	公立南砺中央病院	柄崎マユミ	2	○	○	○	○	○	改
	公立南砺中央病院	神本智恵美	3	○	○	○	○	○	改
	公立南砺中央病院	能森 絢子	4	○	○	○	○	○	改
南砺市訪問看護ステーション	村井真須美	5	○	○	○	○	○	改	
主任(理学療法士) 作業療法士 作業療法士 主査(理学療法士) 主査(放射線技師) 理学療法士	南砺市民病院	坂井 一葉	6	○					
	南砺市民病院	城寶 学	7	○					
	南砺市民病院	裏田 将志	1	○					
	公立南砺中央病院	柴田 里枝	2	○	○	○	○	○	初
	公立南砺中央病院	片山 嘉明	3	○	○	○	○	○	
南砺市訪問看護ステーション	苗加 和孝	4	○	○	○	○	○		
副主幹(管理栄養士) 副主幹(保健師) 保健師 所長(保健師) 保健師	南砺市健康課	五嶋 春美	5	○	○	○	○	○	改
	南砺市健康課	中原 静江	6	○	○	○	○	○	改
	南砺市健康課	高島 綾子	7	○	○	○	○	○	改
	南砺市保健センター	井鐘 秋美	1	○	○	○	○	○	改
	南砺市保健センター	山下 康代	2						
主任ケアマネジャー ケアマネジャー 主任生活相談員 理学療法士 主任ケアマネジャー	津川居宅支援事業所	山本紀都美	3	○	○	○	○	○	改
	津川居宅支援事業所	岩倉美穂子	4	○	○	○	○	○	改
	福野アイビィセンター	飯田 芳美	5	○	○	○	○	○	改
	ふくの若葉病院	中川 哲朗	6	○	○	○	○	○	改
	やすらぎ居宅介護支援事業所	柴田 悦子	7	○	○	○	○	○	改
主任ケアマネジャー ケアマネジャー 主任ケアマネジャー ケアマネジャー ケアマネジャー	やすらぎ居宅介護支援事業所	片田 文代	1	○	○	○	○	○	改
	ふく清居宅介護支援事業所	高瀬見加子	2	○	○	○	○	○	改
	ふく清居宅介護支援事業所	山本真利子	3	○	○	○	○	○	改
	J A福光ふれあいセンター	野嶋 京子	4	○	○	○	○	○	改
	うらら居宅介護支援事業所	清野 彬子	5	○	○	○	○	○	改
相談員 長寿係長 所長(看護師) ケアマネジャー (保健師) ケアマネジャー	城端うらら通所リハビリ	藤田 奈枝	6	○	○	○	○	○	改
	南砺市福祉課	吉田 雅彦	7	○	○	○	○	○	初
	井波在宅介護支援センター	藤井 公香	1	○	○	○	○	○	改
	五箇山在宅介護支援センター	宮井 彰夫	2	○	○	○	○	○	改
	地域包括支援センター	宗井由栄子	3	○	○	○	○	○	改
地域包括支援センター	武蔵 美樹	4	○	○	○	○	○	改	
計		53人		49	43	37	36	35	44



地域住民参加型の医療システムの構築④ “南砺の地域医療を守り育てる会”が 立ち上がった！



南砺の地域医療を守り育てる会

会長：山城清二（富山大学附属病院総合診療部教授）

副会長：南眞司（南砺市民病院院長）

会員：マイスター養成講座終了者44名および住民・医療関係者

会則：なし

会費：なし

第1回（発足会）：平成22年2月5日（参加者131名）

外部講師：細谷亮太先生（聖路加国際病院副院長）

テーマ：地域における小児医療

講演後に、グループ活動報告

第2回：平成22年4月24日（参加者106名）

外部講師：佐藤元美先生（藤沢町民病院院長）

テーマ：地域で考えたこと・実践したこと

講演後に、グループ活動報告

第3回：平成22年7月31日（参加者67名）

講師：南眞司先生（南砺市民病院院長）

テーマ：南砺市の医療の現状

講師：小林俊哉先生（富山大学地域連携推進機構 特命教授）

テーマ：地域再生システム論

講演後に、グループ活動報告



平成22年度 南砺市地域医療再生マイスター養成講座(第2期)

企画責任者1:山城清二(富山大学附属病院総合診療部 教授)
企画責任者2:小林俊哉(富山大学地域連携推進機構 特命教授)

目的:

「地域医療再生マイスター養成」を提案し、医療人マイスターと住民マイスターと呼ばれる人材(コミュニティ・ヘルス・プランナー)を育成する。そして、マイスターは各々の立場で地域医療再生のために活躍し、お互いが連携した地域住民参加型の医療システム(医療・保健・福祉・介護の連携、地域での医療人育成システム、限られた医療資源の活用方法の啓蒙、自ら行う健康活動等のヒューマンネットワーク作り等)の構築を目指す。

今回は講座を5回開講し、初回は総論と各論、2~4回は各論、最終回は報告会とした。講座の内容は北陸先端科学技術大学院大学で開催されている「地域再生システム講座」を参考にした。政策科学というサイエンスを使って地域の課題に取り組みという手法を使うことにした。これは、講義と議論で成り立っているため、参加者の積極的な態度が重要である。

実施場所:南砺市役所福野庁舎 2階 講堂

実施日程:

- 第1回 平成22年 9月17日(金)
- 第2回 平成22年10月 1日(金)
- 第3回 平成22年10月15日(金)
- 第4回 平成22年10月29日(金)
- 第5回 平成22年11月12日(金)

実施時間:午後6時30分~9時(2時間30分)

実施方法:1時間講義、休憩15分、1時間討論、総括15分

成功の宣言 全国に誇れる病院総合医(ホスピタリスト)育成

山城清二

ありがたい姿「活き活きと働く病院総合医」

- 富山でイケイキと働く若い病院総合医が育つ
- 患者のために
いざという時に助けてくれる実力のある医師
- 医療者のために
他職種と連携できる思いやりのある医師
- 病院のために
病院全体が活き活き診療できるように協力する
- 地域社会のために
地域の救急医療・地域医療への貢献

現状の姿「暗闇の中に一筋の光を見出す」

- S(強み)
 - ・仲間がいる
 - ・熱心な医師がいる
- W(弱み)
 - ・高齢者は大変と感じている
 - ・連携が弱い
 - ・自ら行動する人が少ない
- O(機会)
 - ・合同カンファレンスがある
 - ・連携を促す機会がある
- T(脅威)
 - ・高齢患者が増加
 - ・疾患が複雑化
 - ・専門医が減少している
 - ・診療科の疲弊

なりたい姿「病棟診療チームの確立」

- ・目標(期限付き)
富山附属病院での「教育空間」で学び、その後一定期間実践する。(最後には定着する)
- ・目標達成の戦略
 - ①総合医養成の重要性を認識する(マインド)
 - ②富山大学附属病院でと質の高い研修システムの確立。(プロセス)
 - ③富山大学附属病院での若い(医学生/研修医が)沢山育つ(プロダクト)
 - ④市民が若い医療者を可愛がってくれる風土作り(プロダクト)

実践の姿「明るい未来に向かって歩きます」

- ①毎日やる事:症例の検討
- ②毎週やる事:症例の振り返り、チーム内での勉強、手技習得
- ③毎月やる事:合同カンファレンス、今月の症例
- ④毎期やる事:病棟総合医の普及
- ⑤毎年やる事:医師の募集
- ⑥3年毎にやる事:実践する医師を増やす
- ⑦10年毎にやる事:軌道にのる

やったこと

病床確保(まずは4床)、救急との連携

わかったこと:他人にばかり頼らず、

自分も汗垂らして頑張ること

やること:オンリーワンを目指す。

若者が集う富山大学総合診療部



南砺市地域医療再生マイスター養成講座

平成22年度
南砺市医療局

マイスター養成講座 第2期開講

平成22年9月17日(金)から11月12日(金)にかけて全5回、「南砺市地域医療再生マイスター養成講座」が南砺市福野庁舎2階講堂で開催されました。昨年引き続き第2期目となる今年も、南砺市連合会会長の地域住民の方々のほか、市内の医師、看護師、保健師、福祉施設職員ら計48名が受講されました。

この講座は、富山大学附属病院の山城清二先生と富山大学地域連携推進機構の小林俊哉先生がコーディネーターとなり、医師不足で自治体病院の運営が厳しさを増すなか、病院任せではなく、地域住民が自らができることを学び、地域に起きている問題を「自分ごと」としてとらえ、解決に向けて行動してもらおうことを目指してスタートしたものです。



回次	開催日時	コーディネーター	講師
第1回	9月17日(金) 18:30~21:00	山城清二 先生 小林俊哉 先生	富山大学附属病院 総合診療部 部長 田中 浩二 先生 富山大学 地域連携推進機構 特命教授 小林 俊哉 先生 富山大学 地域連携推進機構 特命教授 小林 俊哉 先生
第2回	10月 1日(金) 18:30~21:00	山城清二 先生 小林俊哉 先生	北陸先端科学技術大学院大学 地域再生システム講座 講師 内田 浩二 先生 富山大学 地域連携推進機構 特命教授 小林 俊哉 先生
第3回	10月15日(金) 18:30~21:00	山城清二 先生 小林俊哉 先生	富山大学 地域連携推進機構 特命教授 小林 俊哉 先生 富山大学 地域連携推進機構 特命教授 小林 俊哉 先生
第4回	10月29日(金) 18:30~21:00	山城清二 先生 小林俊哉 先生	富山大学 地域連携推進機構 特命教授 小林 俊哉 先生 富山大学 地域連携推進機構 特命教授 小林 俊哉 先生
第5回	11月12日(金) 18:30~21:00	山城清二 先生 小林俊哉 先生	富山大学 地域連携推進機構 特命教授 小林 俊哉 先生 富山大学 地域連携推進機構 特命教授 小林 俊哉 先生

地域再生の取り組み例と四画面思考を学ぶ



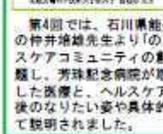
第1回では「自分ごとで働く~成功の宣言文~」と題し、北陸先端科学技術大学院大学の辻藤樹可先生が講師を務められました。自分で未来を切り出すための「自己開発法」について説明され、身の周りの問題に自分ごととして取り組むことの大切さと、今おかれている現状からなりたいた姿への自分を描く「四画面思考」の作成について述べられました。



第2回では、福井県各田庄診療所の中村俊一先生より「地域で働く人々を支える医療・ケア」と題し、住民の日常に寄り添う医療と、今住んでいるところで生き、死ぬということについて、各田庄で実践してこられた地域医療の取り組みをもとに軽妙な語り口で説明されました。



第3回では、北陸先端科学技術大学院大学(内閣府大臣官舎審議官)の窪池志先生より「官民連携による地域再生」と題し、全国の地域活性化の取り組みについて説明され、住民が地域の課題を発見し、相対できる仲間とともに考え行動することが重要と述べられました。



第4回では、石川県能美市芳珠記念病院の仲井雄雄先生より「のびのび能美!ヘルスケアコミュニティの創造を目指して」と題し、芳珠記念病院が取り組む地域に根ざした医療と、ヘルスケアコミュニティの今後のなりたいた姿や具体的な実践手法について説明されました。

グループワーク ~課題解決に向けて前向きな意見を交換~



グループワークでは多職種の方が意見を交換



和やかな雰囲気のもと熱意な意見が飛び交いました



受講者が作成した四画面思考(成功の宣言)です

福祉や医療など多職種の方でグループを構成し、互いの立場で直面する問題点や、課題解決の取り組みについて前向きな意見が交わられました。そして自分のなりたいた姿や実践したい事を四画面思考「成功の宣言」として掲げました。

最終回は、受講生全員が第1回以降の講義で学んだ「四画面思考」をもとに、在宅支援に関するネットワークづくりや、老後も安心して住み慣れた家で暮らせる地域づくりなど、各自が描くなりたいた姿やこれから実践すべき事を発表されました。そして最後に田中市長より養成講座を3回以上受講した43名へ修了証書が授与されました。この講座を卒業した第2期生は、昨年の第1期生が活動する「南砺の地域医療を守り育てる会」に参加することとなり、講義で培ったネットワークを生かし地域の再生について仲間と考え、継続して自ら行動していける事が望まれます。

『なりたいた姿』と『これから実践すること』~地域再生にむけて~



受講者が各自の「成功の宣言」を発表



二ツアミと小林俊哉先生、会場が笑顔に輝きました

最終回の第5回では、受講生全員が第1回以降の講義で学んだ「四画面思考」をもとに、在宅支援に関するネットワークづくりや、老後も安心して住み慣れた家で暮らせる地域づくりなど、各自が描くなりたいた姿やこれから実践すべき事を発表されました。そして最後に田中市長より養成講座を3回以上受講した43名へ修了証書が授与されました。この講座を卒業した第2期生は、昨年の第1期生が活動する「南砺の地域医療を守り育てる会」に参加することとなり、講義で培ったネットワークを生かし地域の再生について仲間と考え、継続して自ら行動していける事が望まれます。



田中市長によるあいさつと、受講者のみなさんへ修了証書が授与されました。



田中市長によるあいさつと、受講者のみなさんへ修了証書が授与されました。

2期生43名のマイスターが育った

平成22年度 地域医療再生マイスター養成講座 受講者名簿

種別	所属	グループ	性別	氏名	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	評定	No.	
住民	南砺市連合婦人会	1	○	小林与志子	○	○	○	○	○	○	1	
		2	○	三田 敏子	○	○	○	○	○	○	2	
		3	改	石崎清雅子	○	○	○	○	○	○	3	
		4	○	笹田富貴子	○	○	○	○	○	○	4	
		5		山下 みき	○	○		○	○	○	5	
		6	改	宮下 澄恵	○	○	○	○	○	○	6	
		1		池田 雅代	○						7	
	南砺市女性議会	2	○	玉井 潤子	○	○	○	○	○	○	8	
		3	改	藤井智津子	○		○	○	○	○	9	
		4	改	大塚美代子	○	○	○	○	○	○	10	
		5		水口 耐子							11	
		6	改	梶井美恵子		○	○	○	○	○	12	
		1		長井久美子	○	○			○		13	
		2	○	金田 悦子	○	○	○	○	○	○	14	
医師	南砺市民病院	3	○	栗山 政人	○	○	○	○	○	○	15	
	南砺市民病院	4	改	南部 郁子	○	○	○	○			16	
		5	○	裏田 幸女	○	○	○	○	○	○	17	
	公立南砺中央病院	6	改	上島いづみ	○	○	○	○	○	○	18	
		1	○	松田 二美	○	○	○	○	○	○	19	
	南砺家庭・地域医療センター	2	○	大塚摩利子	○	○	○	○	○	○	20	
		3	○	野村喜美代	○	○	○	○	○	○	21	
	上平診療所	4	○	塚原 早苗	○	○	○	○	○	○	22	
		5	改	岩村 正美	○	○	○	○	○	○	23	
	訪問看護ステーション	6	○	若松 京子	○	○	○	○	○	○	24	
		1	○	南天 昌子	○	○	○	○	○	○	25	
	診療技術職	南砺市民病院	2	○	深松多津子	○	○	○	○	○	○	26
			3	改	吉田華寿満	○	○	○	○	○	○	27
		公立南砺中央病院	4		山崎 友寛	○	○					28
5			改	布上 大典	○	○	○	○	○	○	29	
訪問看護ステーション		6		山下留美子	○	○					30	
		1	改	小谷 晃一	○	○	○	○	○	○	31	
保健職	南砺市健康課	2	改	森田 慎也	○	○	○	○	○	○	32	
		3	○	松本由紀江	○	○	○	○	○	○	33	
	南砺市保健センター	4	改	樋瓜 奈子	○	○	○	○	○	○	34	
		5	○	大浦 幸代	○	○			○		35	
		6	改	渡辺 洋子	○	○	○	○	○	○	36	
福祉職	旅川居宅支援事業所	1	○	岡崎 真弓			○	○	○	○	37	
		2	改	尾田 典子	○	○	○	○	○	○	38	
	介護老人保健施設なんとと 特別養護老人ホームきらら	3	改	宮崎 紀子	○	○	○	○			39	
		4	○	保野 博文	○	○	○	○	○	○	40	
	南砺市福祉課	5	○	中川 宗明	○	○	○	○			41	
		6	改	亀田 明子	○	○	○	○	○	○	42	
		1	改	石崎 裕子	○	○	○	○	○	○	43	
南砺市地域包括支援センター	2	改	堀 淳子	○	○	○	○	○	○	44		
	3	○	坂本あずさ		○					45		
五箇山在宅介護支援センター	4	○	高桑 裕子	○	○					46		
南砺市社会福祉協議会	5	改	川森 直美	○	○	○	○	○	○	47		
事務職	公立南砺中央病院	6	○	杉村 穂	○	○	○	○	○	○	48	
	合計		42	48	44	44	42	40	37	43		

受講者全員が前に出て自分の取り組みを発表した。その後、南砺市の市長から受講者一人ひとりに修了書が授与された。



受講者一人ひとりが課題を見つけ、その取り組みを4画面法でまとめた。4画面法は自己開発の一つの手段となった。

気がついたこと:

地域医療では、“医療”の再生は必要
 地域医療では、“地域”の活性も必要
 医師(医療者)と患者(住民)の信頼関係が重要

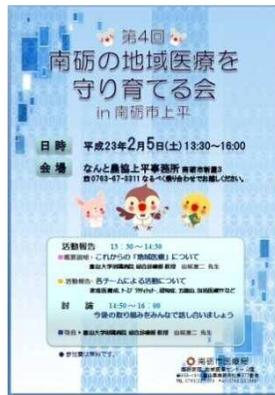
それぞれの思いのギャップを埋める(情報交換)

そして、地域の課題を他人事とせず、自らも行動し、また協働する。

→地域医療再生マイスター養成講座(意識改革)

→住民参加型医療システム(地域医療を守り育てる会)

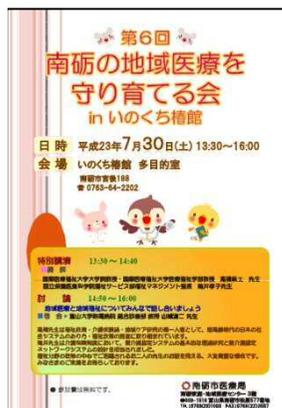
平成22-23年度“南砺の地域医療を守り育てる会”



第4回: 平成23年2月5日(参加者70名)
 講師: 山城清二先生(富山大学総合診療部)
 テーマ: これからの地域医療
 講演後に、グループ活動報告



第5回: 平成23年4月23日(参加者70名)
 外部講師: 関幸子先生(富山市政策参与)
 テーマ: 地域で安心して暮らし続けるために
 講演後に、グループ活動報告



第6回: 平成23年7月30日(参加者65名)
 外部講師:
 高橋紘士先生(国際医療福祉大学教授)
 筒井孝子先生(国立保健医療福祉科学院
 福祉マネジメント室長)
 テーマ: 地域医療と地域福祉について話し合おう
 外部講師: 講演後に、グループ活動報告

平成23年度 南砺市地域医療再生マスター養成講座(第3期)

平成23年度 南砺市地域医療再生マスター養成講座(第3期) 企画責任者1:山城清二(富山大学附属病院総合診療部 教授) 企画責任者2:小林俊哉(富山大学地域連携推進機構 特命教授) 目的: 「地域医療再生マスター養成」を提案し、医療人マスターと住民マスターと呼ばれる人材(コミュニティヘルス・プランナー)を育成する。そして、マスターは各々の立場で地域医療再生のために活躍し、お互い連携した地域住民参加型の医療システム(医療・保健・福祉・介護の連携、地域での医療人育成システム、限られた医療資源の活用方法の啓蒙、自ら行う健康活動等のヒューマンネットワーク作り等)の構築を目指す。

今回は講座を5回開講し、初回は総論と各論、2~4回は各論、最終回は報告会とした。講座の内容は北陸先端科学技術大学院大学で開催されている「地域再生システム論講座」を参考にした。政策科学というサイエンスを使って地域の課題に取り組むという手法を使うことにした。これは、講義と議論で成り立っているため、参加者の積極的な態度が重要である。

実施場所:南砺市役所福祉庁舎 2階 講堂

実施日程:

第1回 平成23年 9月16日(金)

第2回 平成23年 9月30日(金)

第3回 平成23年10月14日(金)

第4回 平成23年10月28日(金)

第5回 平成23年11月11日(金)

実施時間:午後18時30分~20時(2時間30分)

実施方法:1時間講義、休憩15分、1時間討論、総括15分

実施内容:

第1回:総論(地域医療の課題、地域再生システム論) 担当:山城清二、小林俊哉

各論1 近藤修司先生 (北陸先端科学技術大学院大学客員教授) 自己開発法、四面思考法

第2回:各論2 仲井培雄先生(芳珠記念病院 理事長) 石川県能美市の取り組み

第3回:各論3 井階友貴先生(高浜町和田診療所長) 福井県高浜町の地域医療再生の取り組み

第4回:各論4 小林俊哉 山城清二

第5回:報告会、まとめ、修了証授与

定員:約50名

評価: ①第1期では、このマスター養成講座の成果として南砺に“地域医療を守り育てる会”が立ち上がりました。 ②第2期は、協働して取り組むシステム作り、 ③第3期は、協働して取り組むシステム作り、 ④第4期は、協働して取り組むシステム作り、 ⑤第5期は、協働して取り組むシステム作り、 ⑥第6期は、協働して取り組むシステム作り、

評価: ①第1期では、このマスター養成講座の成果として南砺に“地域医療を守り育てる会”が立ち上がりました。 ②第2期は、協働して取り組むシステム作り、 ③第3期は、協働して取り組むシステム作り、 ④第4期は、協働して取り組むシステム作り、 ⑤第5期は、協働して取り組むシステム作り、 ⑥第6期は、協働して取り組むシステム作り、

③第3期は、**地域医療再生の具体的な成果を出す。**

“地域支え合いプロジェクト”



成功の宣言 地域回想法で明るい町づくり

山城清二

ありがたい姿「お年寄りも子供も、みんなイキイキ」



なりたい姿「お年寄りがイキイキ」

地域回想法の修了者が元気に活動する。

- 高齢者が活躍する
- 仲間同士で
- 子供に
- 息子、娘夫婦に
- 地域の活動に

現状の姿「暗闇の中に一筋の光を見出す」

- S(強み)
 - 仲間がいる(マスター)
 - 熱心な人がいる
 - 若者、よそ者、バカ者
- W(弱み)
 - 高齢者は大変と感じている
 - 連携が弱い
 - 自ら行動する人が少ない
- O(機会)
 - マスター養成講座がある
 - 守り育てる会がある
- T(脅威)
 - 高齢患者が増える
 - 疾患が複雑化
 - 若者が減少している



実践の姿「我々がイキイキ」

- 地域回想法の
- 勉強会(スキルを学ぶ)
- 見学や視察
- スクールの計画
- スクールの実践
- 効果と評価

やったこと 第3期マスター養成講座終了

わかったこと:他人に頼らず、自分も頑張ること

やること:オンラインワークショップ



南砺市地域医療再生マスター養成講座

平成23年度 南砺市医療局

マスター養成講座 第3期開講

平成23年9月16日(金)から11月11日(金)にかけて全5回。「南砺市地域医療再生マスター養成講座」が南砺市役所福祉庁舎2階講堂で開催されました。第3期目となる今回は、南砺市議会議員会からの地域住民の方々のほか、市内の医師、看護師、保健師、福祉施設職員など計42名が受講されました。この講座は、富山大学附属病院の山城清二先生と富山大学地域連携推進機構の小林俊哉先生がコーディネーターとなり、医師不足で自治体病院の運営が厳しさを増すなか、病院任せではなく、地域住民が自らができることを学び、地域に起きている問題を“自分ごと”としてとらえ、解決にむけて行動してもらうことを目指してスタートしたものです。

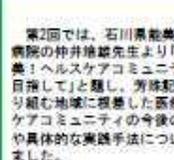


開催日	開催時間	講師	内容
9月16日(金)	18:30~21:00	山城清二先生、小林俊哉先生	①総論(地域医療の課題、地域再生システム論) ②自己開発法、四面思考法
9月30日(金)	18:30~21:00	仲井培雄先生	③各論2 仲井培雄先生(芳珠記念病院 理事長) 石川県能美市の取り組み
10月14日(金)	18:30~21:00	井階友貴先生	④各論3 井階友貴先生(高浜町和田診療所長) 福井県高浜町の地域医療再生の取り組み
10月28日(金)	18:30~21:00	小林俊哉先生、山城清二先生	⑤各論4 小林俊哉先生、山城清二先生
11月11日(金)	18:30~21:00	報告会	⑥報告会、まとめ、修了証授与

地域再生の取り組み例と四面思考を学ぶ



第1回では「自分ごとで働く~成功の宣言文~」と題し、北陸先端科学技術大学院大学の近藤修司先生が講師を務められました。自分で未来を創り出すための「自己開発法」について説明され、身の周りの問題に自分ごととして取り組むことの大切さと、今おかれている現状からなりたいたいの自分を描く「四面思考」の作成について述べられました。



第2回では、石川県能美市芳珠記念病院の仲井培雄先生より「のびのびな健康!ヘルスケアコミュニティの創造を目指して」と題し、芳珠記念病院が取り組む地域に根差した高齢者、ヘルスケアコミュニティの今後のなりたいたい姿や具体的な実践手法について説明されました。



第3回では、福井県高浜町和田診療所の井階友貴先生より「守り育てる地域医療の実際~福井県高浜町の場合~」と題し、高浜町で行っている大学との連携、そして、地域住民らによる地域医療サポーターと連携した取り組みについて説明されました。

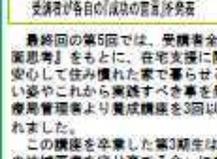
グループワーク ~課題解決に向けて前向きな意見交換~



福祉や医療など多職種の方でグループを構成し、互いの立場で異なる問題点や、課題解決の取り組みについて前向きな意見が交わされました。そして自分のなりたいたい姿や実現したい事を四面思考『成功の宣言』として掲げました。

最終回の第5回では、受講生全員が第1回以降の講義で学んだ『四面思考』をもとに、在宅支援に関するネットワークづくりや、老後を安心して住み慣れた家で暮らせる地域づくりなど、各自が掲げたなりたいたい姿やこれから実施すべき事を発表されました。そして最後に中山医療局管理より養成講座を3回以上受講した38名へ修了証書が授与されました。

『ありがたい姿』と『これから実践すること』~地域再生にむけて~



中山医療局管理より、皆さまのみなさんへ修了証書の授与とお祝いのメッセージが贈られました。

3期生38名のマイスターが育った

修了者名簿

氏名	
長谷川 邦子	藤井 初恵
生田 協子	島田 朋尚
野原 倫子	高田 泰成
山本 良子	岩田 亜樹
平松 恵子	山本 薫
河合 玉喜	高橋 佳孝
水口 育子	荒木 千加子
谷崎 啓子	高野 あずさ
古軸 裕一	早川 雅世
前田 美好	金兵 留美
和田 ゆり子	得能 和子
荒幡 昌久	堀尾 玲江
室 林 治	中居 美智子
鶴野 賀津子	河合 由佳
重倉 俊子	羽馬 由美
長谷 久美子	松原 正和
池田 ひろみ	中井 芳正
富田 由美子	中嶋 範英
竹内 嘉伸	坂 ひとみ
計38名	

修了者所属
南砺市連合婦人会
南砺市議
一般住民
南砺市民病院
公立南砺中央病院
南砺家庭・地域医療センター
南砺市平診療所
南砺市訪問看護ステーション
南砺市保健センター
南砺市地域包括支援センター
井口デイサービスセンター
五箇山在宅介護支援センター
となみケアサービス
特別養護老人ホームやすらぎ荘
(株)エムアンドティ
城端行政センター



平成22-23年度“南砺の地域医療を守り育てる会”

第7回
南砺の地域医療を守り育てる会
in 福野文化創造センター

日時 平成24年2月4日(土) 13:30~18:00
会場 福野文化創造センター アートスペース
〒972-2211 福野

特別講演 13:30~14:48
講師 城西大学経営学部教授 文学部メディア知学専攻 伊関 友伸 先生

討議 14:50~16:00
地域医療と地域福祉についてみんなで話し合いましょう
講師 倉本 龍夫 先生(南砺市立総合医療センター 総合診療科 部長) 山崎 隆二 先生(南砺市立総合医療センター 総合診療科 部長)

講演プロフィール
伊関 友伸 先生は、城西大学経営学部教授、文学部メディア知学専攻主任を務め、地域医療と地域福祉の推進に努めています。地域医療と地域福祉の推進に努めています。地域医療と地域福祉の推進に努めています。

参加費は無料です。 南砺市医師会 福野文化創造センター 福野文化創造センター



第7回:平成24年2月4日(参加者76名)
外部講師:講師:伊関友伸先生(城西大学経営学部教授)
テーマ:地域医療再生への処方箋
講演後に、グループ活動報告

第8回
南砺の地域医療を守り育てる会
in 井波総合文化センター

日時 平成24年4月21日(土) 13:30~18:00
会場 井波総合文化センター エイトホール
〒973-8210 井波

特別講演 13:30~14:48
南砺市の地域包括医療・ケアについて
講師 倉本 龍夫 先生(南砺市立総合医療センター 総合診療科 部長) 山崎 隆二 先生(南砺市立総合医療センター 総合診療科 部長)

活動発表・討議 14:50~16:00
地域医療再生マスター養成講座から生まれたグループの活動発表
地域医療と地域福祉についてみんなで話し合いましょう
講師 倉本 龍夫 先生(南砺市立総合医療センター 総合診療科 部長) 山崎 隆二 先生(南砺市立総合医療センター 総合診療科 部長)

講演プロフィール
倉本 龍夫 先生は、南砺市立総合医療センター 総合診療科 部長を務め、地域医療と地域福祉の推進に努めています。

参加費は無料です。 南砺市医師会 井波総合文化センター



第8回:平成24年4月21日(参加者90名)
講師:南眞司先生、山城清二
テーマ:南砺市の地域包括医療・ケアについて
講演後に、グループ活動報告

第9回 (参加費無料)
南砺の地域医療を守り育てる会
in ふくみつ

第1部 特別講演 13:30~
「南砺の地域医療について」
講師:南砺市長 田中 幹夫
「厚生労働省 派遣1年生産開始」
講師:厚生労働省派遣 斎藤 直樹 さん

第2部 活動発表 15:00~
「地域医療再生マスター養成講座」から生まれたグループの活動発表
地域医療と地域福祉についてみんなで話し合いましょう
講師:倉本 龍夫 先生(南砺市立総合医療センター 総合診療科 部長) 山崎 隆二 先生(南砺市立総合医療センター 総合診療科 部長)

講演プロフィール
南砺市長 田中 幹夫 先生は、南砺市長を務め、地域医療と地域福祉の推進に努めています。

開催日 2024年7月21日(土)
時間 13:30~16:00
会場 南砺市役所階文化創造館 3階ホール 南砺市元1-1550
お問い合わせ先 0763-23-1003



第9回:平成24年7月21日(参加者95名)
講師:田中幹夫市長、斎藤直樹さん
テーマ:南砺市の地域包括医療・ケアについて
講演後に、グループ活動報告

4期生41名のマイスターが育った

修了者名簿

(順不同)

氏名		氏名	
中道真由美	大浦誠	大浦誠	大浦誠
谷田良子	清澤泰午	清澤泰午	清澤泰午
西部やす子	富山祐佳	富山祐佳	富山祐佳
河合陽介	竹沢和美	竹沢和美	竹沢和美
西村さち子	吉澤環	吉澤環	吉澤環
井澤栄子	安田京子	安田京子	安田京子
松林富子	高田婦美子	高田婦美子	高田婦美子
橋場美和	吉田隆子	吉田隆子	吉田隆子
平田裕子	鶴居勝也	鶴居勝也	鶴居勝也
藤井香	中嶋美樹子	中嶋美樹子	中嶋美樹子
吉田美恵	笹川久美子	笹川久美子	笹川久美子
今井和代	羽柴尚子	羽柴尚子	羽柴尚子
石名坂和美	藤田奈央	藤田奈央	藤田奈央
河原拓也	宮本宏志	宮本宏志	宮本宏志
森田京子	田中正康	田中正康	田中正康
酒井智美	前川達夫	前川達夫	前川達夫
瀧和江	石崎修	石崎修	石崎修
今川里美	上野真希	上野真希	上野真希
谷澤美香	勇崎健児	勇崎健児	勇崎健児
小西正美	廣川成美	廣川成美	廣川成美
小谷美紀子			

修了者所属

一般住民
南砺市連合婦人会
さわやかネットワーク
きららデイサービス
南砺市社会福祉協議会
南砺市民病院
公立南砺中央病院
南砺市訪問看護ステーション
南砺市福祉課
南砺市健康課
南砺市地域包括課
南砺市地域包括支援センター



平成25年度 南砺市地域医療再生マイスター養成講座(第5期)

平成25年度 南砺市地域医療再生マイスター養成講座(第5期) 企画責任者:山城清二(富山大学附属病院総合診療部 教授)

目的: 「地域医療再生マイスター養成」を提案し、医療人マイスターと住民マイスターと呼ばれる人材(コミュニティヘルス・プランナー)を育成する。そして、マイスターは各々の立場で地域医療再生のために活躍し、お互いが連携した地域住民参加型の医療システム(医療・保健・福祉・介護の連携、地域での医療人育成システム、限られた医療資源の活用方法の啓蒙、自ら行う健康活動等のヒューマンネットワーク作り等)の構築を目指す。

今回は講座を5回開講し、初回は総論と各論、2~4回は各論、最終回は報告会とした。講座の内容は北陸先端科学技術大学院大学で開催されている「地域再生システム論講座」を参考にした。政策科学というサイエンスを使って地域の課題に取り組むという手法を使うことにした。これは、講義と議論で成り立っているので、参加者の積極的な態度が重要である。

実施場所:南砺市役所福野庁舎 2階 講堂

実施日程:

- 第1回 平成25年6月28日(金)
- 第2回 平成25年7月12日(金)
- 第3回 平成25年7月26日(金)
- 第4回 平成25年7月9日(金)
- 第5回 平成25年8月30日(金)

実施時間:午後6時30分~9時(2時間30分)

実施方法:1時間講義、休憩15分、1時間討論、総括15分

実施内容:

第1回:総論(地域医療の課題、地域再生システム論) 担当:山城清二

各論1 近藤修司先生 (北陸先端科学技術大学院大学客員教授) 自己開発法、四面思考法
第2回:各論2 仲井培雄先生(芳珠記念病院 理事長) 石川県能美市の取り組み
第3回:各論3 小林俊哉先生(九州大学)

第4回:各論4 山城清二
第5回:報告会、まとめ、修了証授与 定員:約50名

評価:

- ①第1期では、このマイスター養成講座の成果として南砺に“地域医療を守り育てる会”が立ち上がりました。
- ②第2期は、協働して取り組むシステム作り、婦人会グループ、五箇山グループ、認知症対策グループ、そして総合医療育成グループが各々の課題に取り組んでおります。
- ③第3期は、地域医療再生の具体的な成果が出ました。
- ④取り組みの継続
- ⑤地域交流合いプロジェクト 継続
- ⑥5年目の取り組み
- ・介護保険推進
- ・全国サミットの成功
- ・地域包括ケアシステムの構築



南砺市地域医療再生マイスター養成講座

平成25年度 南砺市 地域包括ケア局

マイスター養成講座 第5期開講

平成25年6月28日(金)から8月30日(金)にかけて全5回、「南砺市地域医療再生マイスター養成講座」が南砺市役所 福野庁舎2階講堂で開催されました。第5期目となる今回は、南砺市連合婦人会からの地域住民の方々のほか、医師、看護師、保健師、福祉施設職員など計45名が受講されました。



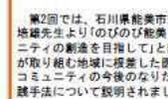
この講座は、富山大学附属病院総合診療部の山城清二先生がコーディネーターとなり、医師不足で自治体病院の運営が厳しさを増すなか、病院任せではなく、地域住民が自らができることを学び、行動に起きている問題を“自分ごと”としてとらえ、解決に向けて行動してもらうことを目指してスタートしたものです。

期数	開催日時	コーディネーター	講師
第1回	6月28日(金) 18:30~21:00	山城清二先生	富山大学附属病院 総合診療部 教授 山城清二先生
第2回	7月12日(金) 18:30~21:00	山城清二先生	北陸先端科学技術大学院大学 客員教授 近藤修司先生
第3回	7月26日(金) 18:30~21:00	山城清二先生	芳珠記念病院 理事長 仲井培雄先生
第4回	7月9日(金) 18:30~21:00	山城清二先生	九州大学 総務部健康推進課 企画・政策研究センター 准教授 小林俊哉先生
第5回	8月30日(金) 18:30~21:00	山城清二先生	富山大学附属病院 総合診療部 教授 山城清二先生
第6回	8月30日(金) 18:30~21:00	山城清二先生	報告会・まとめの行事実施

地域再生の取り組み例と四面思考を学ぶ



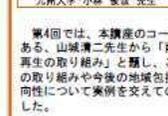
第1回では、「四面思考で未来を創る~自己開発法:喜びの創造と連続~」と題し、北陸先端科学技術大学院大学の近藤修司先生が講師を務められました。自己開発法について説明され、身の周りの問題に自分ごととして取り組むことの大切さと、今おこなっている現状からなりたてたい姿への自分を推く「四面思考」の作成について述べられました。



第2回では、石川県能美市芳珠記念病院の仲井培雄先生より「のびのびな暮らし!ヘルスケアコミュニティの創造を目指して」と題し、芳珠記念病院が取り組む地域に根ざした医療と、ヘルスケアコミュニティの今後のなりたてたい姿や具体的な実践手法について説明されました。



第3回では、九州大学科学技術イノベーション政策教育センターの小林俊哉先生から北陸先端科学技術大学院大学での地域活性化の取り組みを紹介され、また、四面思考法の作成方法について事例を交え、詳しく説明いただきました。



第4回では、本講座のコーディネーターでもある、山城清二先生から「南砺市での地域医療再生の取り組み」と題し、これまでの南砺市での取り組みや今後の地域包括ケアシステムの方向性について事例を交えての講義をいただきました。

地域包括ケアシステムモデル: Campus-Community Partnership for Health Care 富山市モデル: 地域包括ケアシステムの未来の街とやま市

山城清二

理想の姿「地域の未来創造:住民みんながイキイキ」

地域包括ケアシステムを利用した新しい地域の創生



近未来の姿「職員みんながイキイキ働く地域」

医療・保健・介護・福祉の職員 行政職員 地域を支える住民

3年後に地域包括ケアシステムの確立

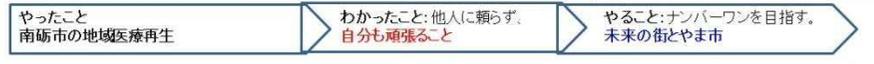
- みんながこのシステムを理解する
- ①自分が「やるぞー感」で進める(マインド)
- ②皆がシステムを理解する(プロセス)
- ③在宅支援のシステムを構築(プロダクト)

現状の姿「暗闇の中に一筋の光を見出す」

- S(強み)**
 - 仲間が増えてきている
 - 熱心な人がいる
 - 富山市が協力的
- W(弱み)**
 - 高齢者は大変と感じている
 - 連携が弱い
 - 自ら行動する人が少ない
- O(機会)**
 - 話し合いが行われている
 - 寄付講座
- T(脅威)**
 - 高齢患者が急増
 - 疾患が複雑化
 - 救急患者が急増
 - 病院先の病院が少ない

実践の姿「富山プライマリ・ケア講座」

- 連携強化型在宅療養支援診療所 学び・連携・実践する
- ・毎日:診療
- ・毎週:振り返り
- ・毎月:会議での情報交換
- ・每期:研修会開催
- ・毎年:マイスター養成講座
- ・1年後:まちなか診療所
- ・3年後:地域包括ケアシステム完成



グループワーク ~課題解決に向けて前向きな意見を交換~



最初は不安と緊張の様子だった受講生の皆さん



グループワークをとおし、取組の目標設定と意見交換を行いました



講師の先生からも視座別にアドバイスをいただきました

『やりたい姿』と『これから実践すること』~地域再生にむけて~



受講者が各自の『成功の宣言』を発表 他の受講生の成功の宣言に共感と意を添える受講生

最終回の第5回では、受講者全員が講義と通して学んだ『四面思考』をもとに、それぞれの業務での目標や、老後も安心して暮らせる地域づくりなど、各自が描くありたい姿やこれから実践すべき事を発表されました。そして最後に工藤地域包括医療・ケア局管理者より養成講座の修了した44名の修了生へ修了証書が授与されました。この講座を卒業した第5期生は、これまでの修了生が活動する「南砺の地域医療を守り育てる会」に参加することとなり、講座で培ったネットワークを生かし地域の再生について仲間と考え、継続して自ら行動していける事が期待されます。



工藤地域包括医療・ケア局管理者から、修了生のみなさんへ修了証書の授与とお祝いメッセージが贈られました。

5期生44名のマイスターが育った

「第14回介護保険推進全国サミットinなんと」無事閉幕！ 平成25年10月17日(木)～18日(金)

サミットのシンボル「転ばぬ先の杖」が次期開催地の熊本市に引き継がれました

情報発信元：市民協働課(南砺市協働のまちづくり支援センター)

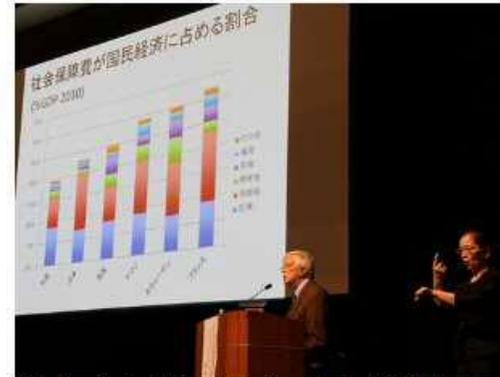


「転ばぬ先の杖」の引き継ぎ

10月18日(金)、福野体育館を主会場に開催中の「第14回介護保険推進全国サミットinなんと」が大会2日目を迎え、昨日に行われた分科会のまとめ、熊本・遠野・浦安・南砺の各市長によるパネルディスカッション、開催市からのメッセージ、特別講演が行われ、閉会式において次期開催地である熊本市に介護保険推進全国サミットのシンボル「転ばぬ先の杖」が引き継がれました。



4市長によるパネルディスカッション



ジョン・クレイトン・キャンベル氏の特別講演

大会2日目は、昨日の各分科会のコーディネーターがそれぞれの分科会で発表された事例・活動発表についてのまとめを披露される「分科会まとめ」で幕を開けました。続いて、東京大学名誉教授の大森 彌氏がコーディネーターを務め、幸山 政史 熊本市長、本田 敏秋 遠野市長、松崎 秀樹 浦安市長そして田中市長がパネリスト、原 勝則 厚生労働省老健局長をオ

ブザーパーに招き、「団塊世代の介護保険を支える～都市と地方が抱える問題を通して～」をテーマにしたパネルディスカッションが行われました。

昼食・休憩をはさんで、行われた「開催市からのメッセージ」では、南 眞司 南砺市民病院長がコーディネーターとなり、市内の医療・介護の最前線で働く発表者とともに「多職種連携で結ぶ家族の絆と地域の絆～一人ひとりの人生を支える地域包括医療・ケア」をテーマに南砺市の地域包括医療・ケアについて現状・活動・事例等の発表を行いました。引き続き、ミシガン大学名誉教授のジョン・クレイトン・キャンベル氏による「2025年へ向けて 介護保険の課題」と題した特別講演が行われました。

2日間の最後を締めくくる閉会式では介護保険推進全国サミットのシンボルである長さ170cmの「転ばぬ先の杖」が田中市長から次期開催地である熊本市の幸山熊本市長の手へ手渡されました。

平成26年度 南砺市

地域医療・地域活性化マイスター養成講座 (地域医療再生マイスター養成講座から 地域医療・地域活性化マイスター養成講座へ名称変更)

南砺市
平成26年度

地域医療・地域活性化マイスター養成講座 (第6期) 開催のご案内



南砺市では、富山大学附属病院総合診療部の協力を得て、地域医療再生への取り組みを進めています。本年で第6期となる「地域医療・地域活性化マイスター養成講座」では、地域医療の課題の発見や地域活性化の検討を行い、地域住民や地域の団体、医療や福祉のスタッフも一緒になって地域医療・地域活性化のためのノウハウを学ぶとともに、人的なネットワークづくりに取り組みます。地域医療・地域活性化について興味・関心、また、取り組みへの意欲をお持ちの方の受講をお待ちしております。

回数	開催日時	カリキュラム内容	講師
第1回	10月3日(金) 18:30~21:00	【総論】 ○地域医療の課題 ○地域再生システム論 【各論1】 ○自己開発法、四面思考法 自分ごとで働く一成功の宣言文ー	富山大学附属病院 総合診療部 教授 山城 清二 先生 北陸先端科学技術大学院大学 客員教授 近藤 修司 先生
第2回	10月17日(金) 18:30~21:00	【各論2】 ○地域医療の取り組み例 のびのび能美!ヘルシア・コミュニティの創造を目指して	芳珠記念病院 理事長 仲井 培雄 先生
第3回	10月30日(木) 18:30~21:00	【各論3】 ○地域活性化の取り組み例 みんなで作りなあれ、医療と地域	福井県高浜町和田診療所 所長 井階 友貴 先生
第4回	11月14日(金) 18:30~21:00	【各論4】 ○地域活性化の取り組み例 ここから始まる!地域包括ケアのまちづくり	独立行政法人労働政策研究・研修機構 研究員 堀田 聡子 先生
第5回	11月28日(金) 18:30~21:00	【報告会・まとめ】 ○成果発表 ○修了証授与	



1、会場	南砺市役所福野庁舎 2階講堂
2、対象者	地域医療・地域活性化に意欲のある方で、できる限り毎回受講できる方 50名程度(南砺市の住民の方および医療・保健・福祉にたずさわる方)
3、受講料	無料(ただし、会場までの交通費、材料費等は自己負担となります。)
4、問合せ 申込み先	南砺市地域包括医療・ケア局 医療課 〒939-1518 富山県南砺市松原 577 番地 南砺家庭・地域医療センター 3階 Tel. 0763-23-1003 Fax. 0763-22-3557 代表 mail : iryoka@city.nanto.lg.jp

主催：南砺市地域包括医療・ケア局 共催：富山大学附属病院総合診療部



南砺市地域医療・地域活性化マイスター養成講座

平成26年度
南砺市
南砺市健康づくり局

マイスター養成講座 第6期開講

平成26年10月3日(金)から11月28日(金)にかけて全5回。「南砺市地域医療・地域活性化マイスター養成講座」が南砺市役所福野庁舎2階講堂で開催されました。第6期目となる今回は、南砺市連合婦人会や南砺市自治振興会連合会からの地域住民の方々のほか、看護師、保健師、福祉施設職員など計50名が受講されました。



この講座は、富山大学附属病院総合診療部の山城清二先生がコーディネーターとなり、医師不足で自治体病院の運営が厳しさを増すなか、病院任せではなく、地域住民が自らができることを学び、地域に起きている問題を「自分ごと」としてとらえ、解決にむけて行動してもらうことを目指してスタートしたものです。

回数	開催日時	カリキュラム内容	講師
第1回	10月3日(金) 18:30~21:00	【総論】 ○地域医療の課題 ○地域再生システム論 【各論1】 ○自己開発法、四面思考法 自分ごとで働く一成功の宣言文ー	富山大学附属病院総合診療部 教授 山城 清二 先生 北陸先端科学技術大学院大学 客員教授 近藤 修司 先生
第2回	10月17日(金) 18:30~21:00	【各論2】 ○地域医療の取り組み例 のびのび能美!ヘルシア・コミュニティの創造を目指して	芳珠記念病院 理事長 仲井 培雄 先生
第3回	10月30日(木) 18:30~21:00	【各論3】 ○地域活性化の取り組み例 みんなで作りなあれ、医療と地域	福井県高浜町和田診療所 所長 井階 友貴 先生
第4回	11月14日(金) 18:30~21:00	【各論4】 ○地域活性化の取り組み例 ここから始まる!地域包括ケアのまちづくり	独立行政法人労働政策研究・研修機構 研究員 堀田 聡子 先生
第5回	11月28日(金) 18:30~21:00	【報告会・まとめ】 ○成果発表 ○修了証授与	

グループワーク ~課題解決に向けて前向きな意見を交換~



農機は不況と関係の噂だった受講生の皆さんも



グループワーク中、疑問の解消や新たな気づきも出ていた



講師の先生から先物情報にアポイントをいただきました

多職種の方でグループを構成し、異なる問題点や、課題解決の取り組みについて前向きな意見が交わされました。そして自分のなりたい姿や実現したい事を四面思考『成功の宣言』として掲げました。

【各論4】
○地域活性化の取り組み例
ここから始まる!地域包括ケアのまちづくり

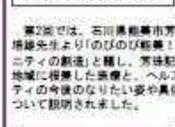
この講座を卒業した第6期生は、これまでの修了生が活動する「南砺の地域包括医療・ケアを守り育てる会」に参加することとなり、講義で培ったネットワークを生かして地域医療・地域活性化について仲間と考え、継続して自ら行動していける事が期待されます。

地域活性化の取り組み例と四面思考を学ぶ



北陸先端科学技術大学院大学 近藤 修司 先生

第1回では、「四面思考法の基本ー自己開発法、思いを表現し未来を創るー」と題し、北陸先端科学技術大学院大学の近藤修司先生が講師を務められました。自分で未来を創り出すための「自己開発法」について説明され、身の周りの問題に自分ごととして取り組むことの大切さと、与えられている現状からなりたい姿や具体的な実践方法について説明されました。



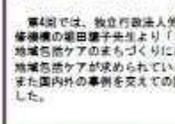
福井県高浜町和田診療所 井階 友貴 先生

第2回では、石川真紀華市芳珠記念病院の仲井培雄先生より「のびのび能美!ヘルシア・コミュニティの創造」と題し、芳珠記念病院が取り組む地域に根ざした医療と、ヘルシア・コミュニティの今後のなりたい姿や具体的な実践方法について説明されました。



福井県高浜町和田診療所 井階 友貴 先生

第3回では、福井県高浜町和田診療所の井階友貴先生より「みんなで作りなあれ、医療と地域ー医師から見た地域医療活性化活動ー」と題し、高浜町で行っている大学との連携、そして、地域住民らによる地域医療サポーターと連携した取組みについて説明されました。



独立行政法人労働政策研究・研修機構 堀田 聡子 先生

第4回では、独立行政法人労働政策研究・研修機構の堀田聡子先生より「ここから始まる!地域包括ケアのまちづくりに向けて」と題し、地域包括ケアがめざされている背景やあり方、また国内外の事例を交えての講義をいただきました。

『ありがたい』がこれから実践すること~地域活性化に向けて~



受講者が各自の課題の宣言を披露



他の受講生の成功の宣言に思いを馳せる受講生

最終回の第5回では、受講者全員が講義を通して学んだ『四面思考』をもとに、それぞれの業務での目標や、今後も安心して暮らせる地域づくりなど、各自が描く『なりたい姿』から実践する事を発表されました。そして最後に田中南砺市長より養成講座の修了した50名の修了生へ修了証書が授与されました。



田中南砺市長から、修了生のみなさんへ修了証書の授与とお祝いメッセージが送られました。

6期生50名のマイスターが育った

平成27年度“南砺の地域包括医療・ケアを守り育てる会”

第19回 南砺の地域包括医療・ケアを守り育てる会 In ふくみつ

参加費無料

第1部 地域包括ケアシステム推進の取り組み
特別講演 13:30~
「行政・社協・住民・事業所・専門職それぞれの役割」
講師 富士宮市役所 福祉総合相談課 課長 土屋 幸己 氏

第2部 最先技術活用発表 15:00~
今後の取り組みについて、みんなで話し合いましょう
コーディネーター 富山大学助産院 総合助産部 教授 山崎 真二 先生

【講師】土屋 幸己（30才 男性）氏
1987年富山県下川原町生まれ。富山県立大学卒業。福祉総合相談課 福祉推進課長。2015年4月より南砺市福祉総合相談課 福祉推進課長に就任。2016年4月より南砺市福祉総合相談課 福祉推進課長に就任。2019年4月より南砺市福祉総合相談課 福祉推進課長に就任。2022年4月より南砺市福祉総合相談課 福祉推進課長に就任。2025年4月より南砺市福祉総合相談課 福祉推進課長に就任。

開催日 2015年7月25日(土)
時間 13:30~16:00
会場 南砺市役所福祉総合相談課 3階ホール（南砺市元木1550）
お問い合わせ先 0763-23-1003



第19回：平成27年7月25日（参加者50名）

講師：富士宮市福祉総合相談課

課長 土屋 幸己 氏

テーマ：地域包括ケアシステム推進の取り組み

行政・社協・住民・事業所・専門職それぞれの役割

講演後に、グループ活動報告

北日本新聞 2015/07/26



高年齢者支える 態勢づくり紹介
富士宮市の事例講演
南砺市の地域包括医療・ケアを守り育てる会が25日、同市役所福光庁舎で開かれ、静岡県富士宮市福祉総合相談課の土屋幸己課長が、行政と住民との連携によって高齢者を支える態勢づくりをテーマに講演した。

土屋課長は増え続ける認知症高齢者を行政のみで支える

のは困難との理由から、住民参加によるサポート態勢構築の必要性を訴えた。

富士宮市で現在の南砺市と同様、地区社会福祉協議会単位での生活支援をモデル事業として実施した取り組みを紹介。イベント中心から課題対応型の活動に転換し、専門家から高い評価を受けることにより、軌道に乗った経緯を説明した。「トップランナーが走ると、どんどん動き始めた」と、モデル事業の意義を語った。

当初は行政の役割を住民が肩代わりするとの受け止め方や反発もあったが、住民ニーズを見だし、解決策を検討することで、住民意識が変化してきたことも説明した。

(第7期)南砺市地域医療・地域活性化マイスター養成講座

会場:南砺市役所福野庁舎 2階 講堂

時間:午後6時30分~9時

実施日程:

第1回 平成27年9月18日(金)近藤修司先生

第2回 平成27年10月9日(金)南眞司先生

第3回 平成27年10月23日(金)井階友貴先生

第4回 平成27年11月6日(金)仲井培雄先生

第5回 平成27年11月20日(金)まとめ(山城)

7期生50名のマイスターが育った



平成27-28年度“南砺の地域包括医療・ケアを守り育てる会”



第20回:平成28年2月13日
 講師:田中幹夫市長
 テーマ:南砺市の地域包括医療・ケアについて

北日本新聞 2016/02/14

支え合いを広げよう

地域医療・福祉将来像探る 「守り育てる会」

南砺市地域医療や福祉の将来像を探る「南砺の地域包括医療・ケアを守り育てる会」が13日、同市寺家新屋敷(福野)のア・ミュージックホールで開かれ、お年寄りへの生活支援モデル事業の紹介を通じ、住民同士の支え合いのさらなる拡大を呼び掛けた。

この事業は、介護保険制度改正に伴い、本格的な介護が必要になる前の「要支援1、2」の人向けのサービスが市町村事業に移行されるのを前に、市内6地区をモデル地区として本年度、実施してきた。この日は、それぞれの地区のニーズに応じて、健康体操やタブレット端末講習を取り入れたサロ、活動、配食や見守りなどを多彩に展開していることが紹介された。市地域包括課は「次年度の継続への意欲が高い」と述べた。

コディネーターの山城清二(富山大学附属総合診療部)教授は「継続するには、地区

社会福祉協議会や自治振興会に任せきりにせず、住民全体で応援する必要がある」と、社会福祉法人による介護人材育成、回想法を使った認知症ケアの取り組みなどの事例発表もあった。田中幹夫市長が講演し、障害の有無や年齢にかかわらず、全ての人が生産できる社会づくりを訴えた。

生活支援モデル事業の取り組みなどが紹介された「守り育てる会」

社会福祉協議会や自治振興会に任せきりにせず、住民全体で応援する必要がある」と、社会福祉法人による介護人材育成、回想法を使った認知症ケアの取り組みなどの事例発表もあった。田中幹夫市長が講演し、障害の有無や年齢にかかわらず、全ての人が生産できる社会づくりを訴えた。

社会福祉協議会や自治振興会に任せきりにせず、住民全体で応援する必要がある」と、社会福祉法人による介護人材育成、回想法を使った認知症ケアの取り組みなどの事例発表もあった。田中幹夫市長が講演し、障害の有無や年齢にかかわらず、全ての人が生産できる社会づくりを訴えた。

第21回:平成28年4月16日:東内京一氏 和光市保健福祉部長
 第22回:平成28年7月23日:秋山正子氏 暮らしの保健室長

第1期～第7期310名のマイスターの内訳

マイスター養成講座受講者分類

	住民			専門職			行政			その他			合計		
		男	女		男	女		男	女		男	女		男	女
1期	13	0	13	22	5	17	9	2	7	0	0	0	44	7	37
2期	11	0	11	22	7	15	10	1	9	0	0	0	43	8	35
3期	11	2	9	20	7	13	6	1	5	1	1	0	38	11	27
4期	11	0	11	20	7	13	8	2	6	2	1	1	41	10	31
5期	6	0	6	27	10	17	10	2	8	1	1	0	44	13	31
6期	19	9	10	25	6	19	6	3	3	0	0	0	50	18	32
7期	22	8	14	24	6	18	4	0	4	0	0	0	50	14	36
合計	93	19	74	160	48	112	53	11	42	4	3	1	310	81	229

合計**310名**:男81名(26%) 女229名(74%)

住民:93名(30%) 専門職:160名(52%) 行政:53名(17%) その他:4名(1%)

主な分類	
住民	連合婦人会、女性議会、自治振興会、個人参加
専門職	南砺市民病院、公立南砺中央病院、訪問看護ステーション、医療施設職員、介護施設職員
行政	保健センター、包括支援センター、その他の行政職
その他	企業関係者

評価①

マイスター講座修了者への意識/行動変化

- 第1期～第6期終了者260名のうち発送可能者234名へアンケート用紙を郵送
- 153名の回答があった(回収率:153/234=65.4%(全体では、153/260=58.8%))

	住民	専門職	行政	その他	合計	
1期	11	19	7	0	37	
2期	9	16	9	0	34	
3期	9	17	5	1	32	
4期	11	20	7	2	40	
5期	6	25	9	1	41	
6期	19	25	6	0	50	
合計	65	122	43	4	234	←アンケート発送数

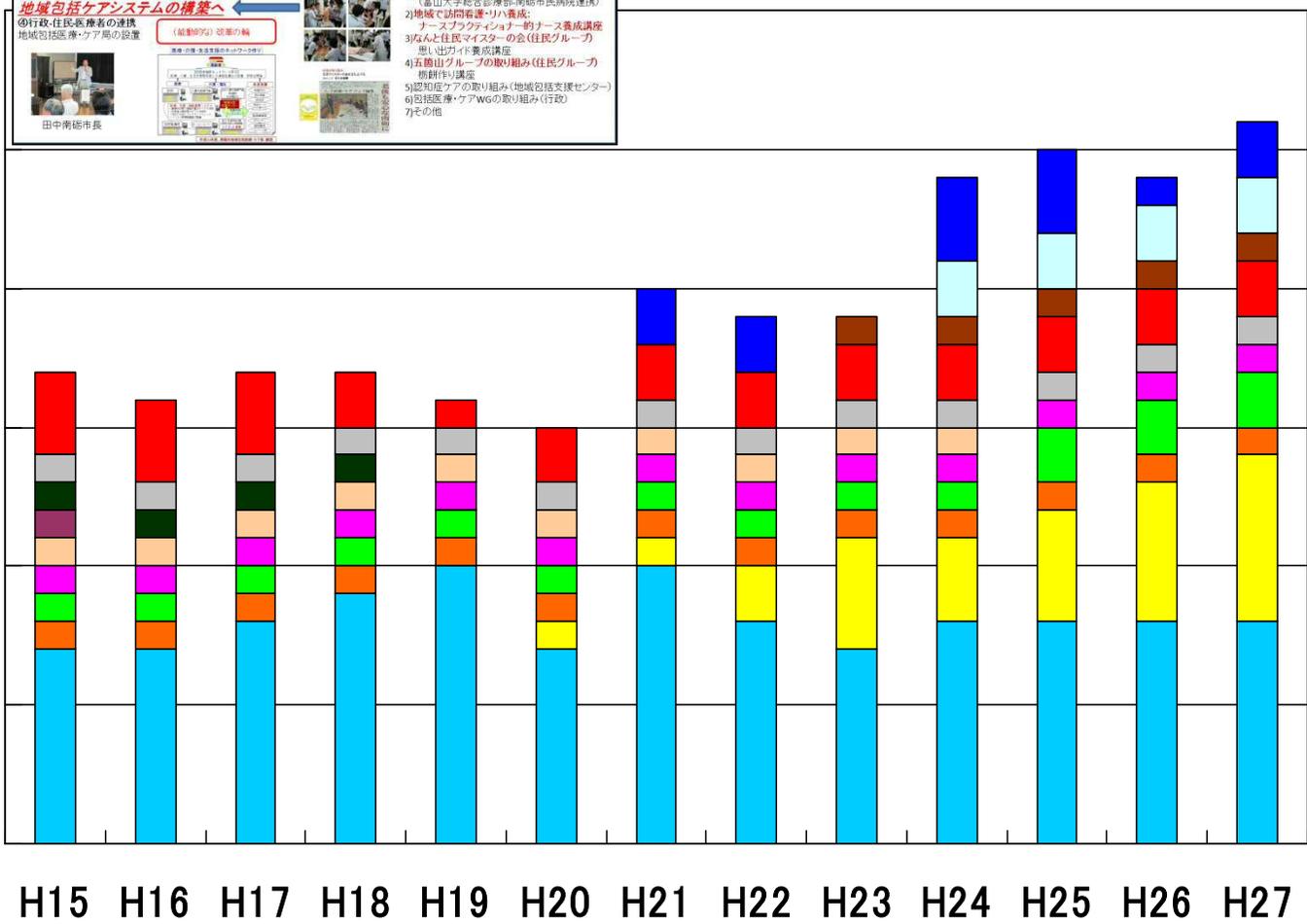
結果:意識変化は修了者の6割が、行動変化は4割。
驚いたことに、
住民グループでは5割の人が行動変化を回答。



評価② 南砺市民病院常勤医の増加

(H27.4月現在)

30
25
20
15
10
5
0



- 初期研修医
- 歯科口腔外科
- 泌尿器科
- 外科
- リハビリ科
- 耳鼻科
- 産婦人科
- 放射線科
- 眼科
- 整形外科
- 小児科
- 総合医
- 内科

教育研修体制(初期&後期研修(家庭医養成プログラム)↑=若手医師数↑↑

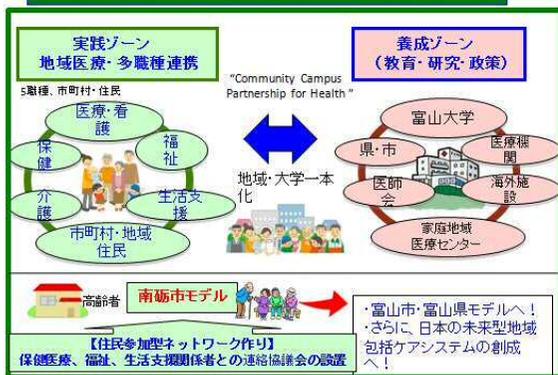


評価③ 訪問看護師・OT/PT/STの増加

(1999年→2007年→2014年)
高齢者の増加＝訪問看護のニーズ↑
教育体制↑＝訪問看護の人気↑

キャンディーズの人数から
AKBの人数へ増えつつある。





評価④

住民参加型の地域包括ケアシステムの広がり
南砺市→富山市、高岡市、朝日町

超高齢社会に向けて、地域包括ケアを正しく理解し、
住民、行政および専門職が連携して地域包括ケアシステムを構築し、
各人が自分の役割を積極的に実践する。

そのために、人材育成として**マイスター養成講座**を企画した。

- ・健康まちづくりマイスター養成講座(富山市)
- ・地域包括医療・地域活性化マイスター養成講座(南砺市)
- ・地域包括医療・地域活性化マイスター養成講座(朝日町)
- ・健康なまちづくりマイスター育成事業(高岡市) (2年間で**588名**、7年間で**798名**)



富山市



南砺市

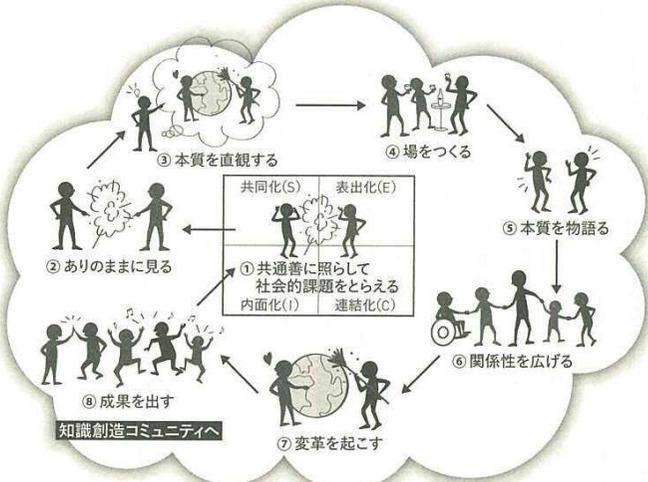


朝日町

評価⑤ 南砺市モデルは 社会変革プロセスである



図5-3 ▶ 知創コミュニティへの社会変革プロセスの概念図

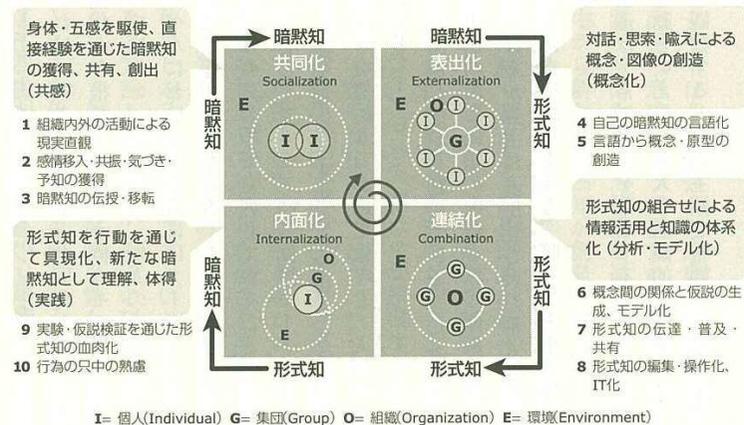


南砺市モデル:
知識創造コミュニティの社会変革プロセスである。

地域医療再生マスター養成講座:
SECIモデル(知識創造の基礎理論:野中郁次郎)に
 基づいた取り組み。
 (I)個人の意識改革、(G)グループワーク、
 (O)地域包括医療・ケア局
 (E)南砺市の地域包括ケアシステム
 S:Socialization共有化, E:Externalization表出化,
 C:Combination連結化, I:Internalization内面化
4画面思考法は意識改革法(改革知識の実践理論)

南砺の地域医療を守り育てる会:
改革の輪(行動改革)を広げる機会である。

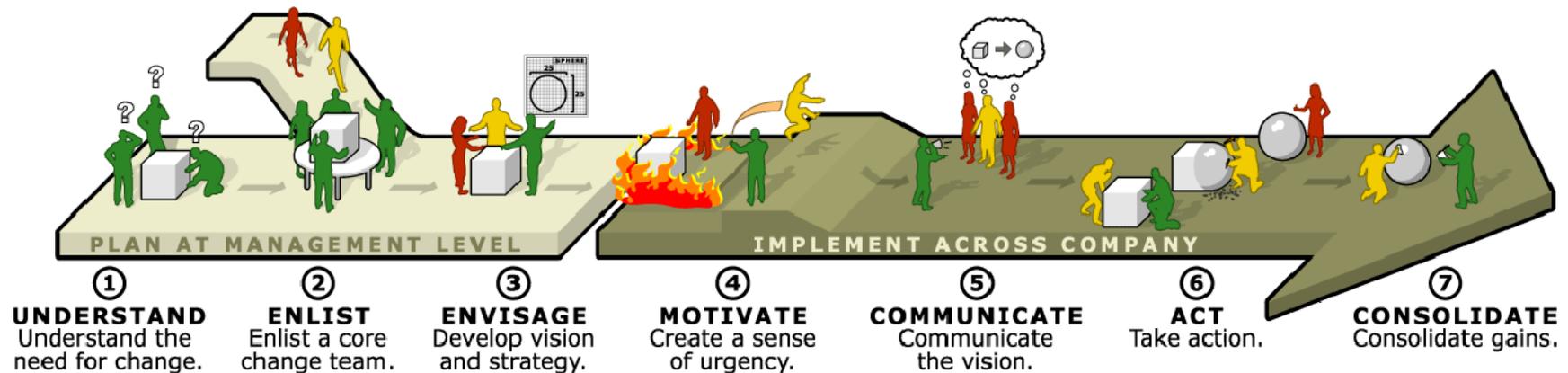
図2-2 | 組織的知識創造プロセス—SECIモデル



Kotter –Change Process

Kotterの変革プロセス

(John P Kotter: ジョン・P・コッター)



Dr Abramsのスライド
2014.1.16

8段階の変革プロセス

John P Kotter: ジョン・P・コッター

- ①危機感を高める
- ②コア・グループを作る
- ③ビジョンを掲げ、イニシアチブを決める
- ④志願者を増やす
- ⑤障害物を取り除く
- ⑥早めに成果を上げて祝う
- ⑦加速を維持する
- ⑧変革を体質化する

地域包括ケアシステムモデル: Community-Campus Partnership for Health Care 「南砺市モデル: 地域・大学パートナーシップモデル」

2016.3月 現在

8年前の医療崩壊からスタート:

①医師不足、診療科の偏在、②病院の診療所化、③高齢化率、④医療人と住民の意識の乖離
→南砺市は、十分な医師確保が期待できないこの10年間、今後の医療崩壊を阻止するために
医療人と住民が連携し、ともに地域医療を守る努力が必要である。しかし、約2年間の**在宅医療推進セミナー**の講演活動のみでは行動は起こらなかった。

①地域医療再生マイスター養成講座
(第1-7期): **310名**のマイスターが誕生

①危機感を高める

③ビジョンとイニシアティブ

キーワード:
人が育つことは楽しい
『教育空間』創成
南砺市

②コア・グループを作る

④志願者を増やす

②南砺の地域医療を守り育てる会
第1回-第20回: **年3回**のペースで開催

⑤障害を取り除く

⑦加速を維持する

実践の姿: 7年間の状況

「みんながイキイキ」

7年間: **人材育成の継続**

5か年計画で200名以上のマイスターを養成した。

介護保険全国サミットを成功させた。

7年間のまとめ:

①**地域医療再生マイスター養成講座**(第1-7期): **310名**のマイスターが誕生

②**南砺の地域医療を守り育てる会**: 第1回-第21回: **年3回**のペースで開催

③**各グループの取り組み**: 毎回発表し、**継続的な取り組み**となっている

④**行政-住民-医療者の連携**が**目に見える形**になりつつある。

継続のステップ:

ステップ1: **自己の意識・思考改革**: “自分ごと” 4画面思考法

ステップ2: **グループ活動**: 講座でのグループ内意見交換、各グループ活動

ステップ3: **発表する場**: 守り育てる会、グループ間交流

ステップ4: **行政-住民-医療者の連携**: 行政の力、南砺市全体への広がり

ステップ5: **取り組みの評価**: 成果がでているか、評価基準

2012.3.24後期研修医報告会 in南砺市民病院



後期研修医が病院職員の前で、1年間の成果を発表した。



③各グループの取り組み

1) **地域で医師養成:** **家庭医養成プログラム**
(富山大学総合診療部-南砺市民病院連携)

2) **地域で訪問看護・リハ養成:** **ナースプラクティショナー的ナース養成講座**

3) **なんと住民マイスターの会(住民グループ)**

思い出ガイド養成講座

4) **五箇山グループの取り組み(住民グループ)**

栞餅作り講座

5) **認知症ケアの取り組み(地域包括支援センター)**

6) **包括医療・ケアWGの取り組み(行政)**

7) **その他**

地域包括ケアシステムの構築へ

④行政-住民-医療者の連携
地域包括医療・ケア局の設置

⑧改革を体質化する



田中南砺市長



平成24年度、南砺市地域包括医療・ケア局 創設



住民の取り組み
住民マイスターの会を立ち上げる
2012.1.27 北日本新聞



老後も安心な南砺に

ご清聴ありがとうございました。